

## 職業講話（原中学校）

と き	令和2年10月22日（木）9:00～11:00
ところ	沼津市立原中学校 教室
対 象	2年生（143人）
内 容	職場で働く方の話を聞き働くことの意義を理解し、職業観を高めていく。また、様々な職種の話を知ることで、社会には様々な仕事があり、どの仕事も人々が生活を送るために必要であることを理解する。これらを目指し、男女共同参画推進事業所（5社）による職業講話を行いました。



### 【東京電力パワーグリッドの方】

東京電力は、皆様のご家庭に電気を届ける仕事をしています。自然災害等で停電した場合、少しでも早く復旧できるように、社員の教育や設備の構築に努めています。昔と比べ社員数が減少する中、社員を大切に、「仕事と家庭が両立できる会社」を目指しています。短時間勤務・介護休職等の整備やテレワークも進めています。最近では育児休職を取得する男性や、作業服で電柱に昇る技術職の女性もいます。



### 【原町加工紙の方】

ティッシュペーパーなどの紙製品を製造している会社です。従業員の約8割は女性なので、仕事や家庭などでの困りごとを聞く時間を設け、従業員が安心して働ける職場を目指しています。コロナ禍でマスクが不足していた頃、自分たちにもできることはないかと思い、ティッシュペーパーでマスクを作り無料で配布したところ、メディアでも取り上げられるなどの反響がありました。仕事も大事ですが、社会のために何かできないか考え、実行することとても大切なことだと思っています。



### 【東海医療器械の方】

当社は病院・施設への医療材料・福祉用具の卸売りや、福祉用具のレンタル事業を行っています。介護用ベッドや車いすなどを、老人ホームや在宅で過ごす高齢者・障害者の方へ向けて提供し、実際の使い心地の聞き取り等を行いながら「できなかったことを→できる」にするお手伝いをしています。少人数の会社ですが、4月から職員が働きやすくするため就業規則を明確に定め、大きく改定し、多様な働き方ができるように、育児・介護休暇、時間単位の休暇制度を導入しました。



### 【自衛隊の方】

自衛隊というと男性の職場と思われがちですが、一昨年から女性の採用を積極的に進めています。今年は女性がパイロットや部隊長に任命され、また潜水艦の乗員の訓練を受ける女性もいて、女性も活躍の場を広げています。自衛隊は、他国から日本を守る事、災害時等に国民の暮らしを守る事、国際平和協力活動などの世界への貢献を主な仕事としています。災害現場で、住民の方に感謝の言葉を言ってもらえる時などは、「人のために仕事をしている」と実感が湧きます。



#### 【土木関係技師の方】

私は沼津市の道路管理を行っています。穴が開いた危険な道路の穴埋めを行ったり、土木工学に基づくインフラ整備の発注を行います。発注なので、実際に自分で掘ったり…ということはありません。今までの災害の情報や、実際の状況に合わせたものを考え、作る必要があります。学生の時から数学や物理が好きで、それを活かせる仕事は「土木技術」だと先生から教えてもらい、この道に進みました。女性の技師は少ないので、道路の相談を受けるとき、同性の方から「同じ女性だと相談しやすく嬉しい」と言ってもらえることがあります。

#### 子どもたちの感想

- ティッシュも電気も道路も全て誰かの努力がないと使えません。だから今私はすごく感謝しています。私にとっての「働くこと」は誰かのために全力をつくすことです。将来は感謝される人になりたいです。
- 今日聞いた話では、お話を聞いた全員が自分の仕事にほこりを持っていたと思うので、私もほこりを持てる仕事につきたいです。
- お話を聞いた中でどれも共通していることが「性別問わず、いろんな人が働ける」だと思いました。自衛隊でも女性が働けていたりなど、働き方改革で変わったところが多いなと感じました。
- 3人から話を聞いて、3人とも一人のためでなく、みんなのため、人々のためにやっていることだと思うので、働くことは「人々を助けること」だと思いました。